



日本共産党文京区議会議員
まんぢち幹夫 通信 週刊
 2011年8月19日号 No.205

'みなさんをいつもまんぢかに、'

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

静岡県浜岡原発所



立地対策予算で建てられた立派な健康センターや公衆浴場、様々な市民施設があったと聞きました。立地対策費はこの10年間で総額1兆8千億円。最近では維持管理費がかさむハコものでなく、乳

住民の声と運動で原発増設をストップさせてきた歴史が…
「原発ゼロ」の世論が日本の進路を左右する

残暑お見舞い申し上げます
 猛暑の夏、あらためて原発について考えてみました

8月14日号の「赤旗日曜版」のトップ記事は、「原発計画止めた 全国にたたかいたの歴史」でした。全国に54基の原発が存在し、その危険性、人類との共存が改めて問われていますが、1980年代以降、実に25か所の原発計画が住民の運動でストップされました。驚きました。三重・和歌山県で7か所、石川・福井・京都で6か所、四国で5か所。あの手この手と、国と電力会社はふんだんに力ネをつぎ込みますが、住民の粘り強い運動の前に、断念します。

先日、宮城県女川町に行った時、津波にすっかり飲まれてしまいましたが、駅前に原発立地対策予算で建てられた立派な健康センターや公衆浴場、様々な市民施設があったと聞きました。立地対策費はこの10年間で総額1兆8千億円。最近では維持管理費がかさむハコものでなく、乳

身近なところから自然エネルギーの活用

7月23日に開催された、浜岡原発の廃炉を求める静岡県民集会。志位和夫委員長も参加、挨拶しました。来賓で参加した三上湖西市長は、「赤旗」にも登場し「浜岡原発廃炉」を主張しています。

先日、実は静岡県湖西市の「新所原駅」に立ち寄りました。駅前目付に付いたのが、ポールに付けられた太陽光パネルと風車。小さなものですがいくつも並んでいます。同市に住む姉に聞くと、大きな風力発電施設も市内にあるそうです。声をあげながら「原発から撤退し自然エネルギー導入」を実践しています。



風車
 パネル

- 9日 前日から、年に一度の家族旅行。今回は特に目的を定めず、三河湾散策とローカル線(天竜浜名湖線)をゆつくり巡りました。夜には、東京に戻ります。
- 12日 全戸に配布する区議団ニュース「みんなのまち」ができあがっています。「夕方5時から配ろう」と意気込んだのですが、いっこうに涼しくならないので、あえなく延期。少しお待ちください。
- 15日 終戦記念日。正午から源覚寺さん境内での「汎太平洋の鐘」のイベントにおじゃましました。暑さに負けて、午後から自宅で読書。乃南アサの「しゃぼん玉」という小説。読後すっきり、心洗われ感動しました。



まんぢち日誌